

令和3年度横浜市桂台地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

ー総括表ー

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

令和2年2月下旬から始まった新型コロナウイルス感染拡大および感染防止対策が長期化し1年が経過した。令和2年度の重点取り組みの1は、「新型コロナウイルス拡大および防止対策の影響による生活課題の抽出および情報収集」であったが、懸念していたとおり様々な生活課題が浮かび上がっている。一方、コロナ禍による新しい生活様式の中での工夫も見られている。引き続き、市域、区域、担当エリアの情報収集を行い有益で正しい情報について発信することを継続する。以下、行動自粛が長期化した現在の課題について、令和2年度の重点課題をなぞりながらまとめてみる。

1.新型コロナウイルス拡大および防止対策の影響による生活課題の抽出および情報収集
 ①生活上重要な情報の伝達方法についての見直し…コロナ禍の中、情報伝達等のデジタル化が急激に進んだ1年でもあった。担当エリアは高齢者が多い街であるため、地域活動者を含めた住民の方も顔をあわせて話すことの重要性に重きを置く方が多いが、感染拡大を防ぎながらのリアル会議、デジタル化を取り入れた会議など、どちらかに偏ることなく、感染対策を講じながら必要に応じて使い分けが求められている。
 ②介護に関わる種々の問題の増加（介護サービスの不足、介護にまつわる行き場のないストレスの増大等）…令和2年5月25日、一度目の緊急事態宣言解除後から徐々に相談件数が増加し現在も増え続けている。閉じこもりがちな生活の長期化によるフレイル状態や要介護者の増加等を懸念していたが、コロナ2次被害といわれる問題が現れ始めていることが課題になっている。※感染予防対策を行いながら小さな集まりを再開する時期を模索する。

2.地域保健福祉活動および地域ケアプラザの活用に関する情報の周知について…活動者が少ない40代、50代の方にアプローチすることを主眼としていたが、活動自粛の中、目立った活動は行えなかった。ただし、コロナが収束した後近隣の公園を使用したフェスタの企画を検討しているグループも立ちあがっている。継続して情報収集に努め活動を通じた新たな地域活動の担い手を支援していく。

3.地域課題へのアプローチと地域ニーズに即した社会資源の開発…令和2年度は主だった活動はなかったが、総合相談等の個別ケア、民生委員や専門機関との連携会議および各地域保健福祉計画推進団体等のネットワーク会議から抽出された地域課題について、地域ケア会議等で話し合い協議体を経て社会資源の開発につなげる仕組みを継続する。

4.認知症予防および認知症の方、認知症の家族を介護する家族への支援…コロナ禍の閉じこもり生活は、軽度認知障害の方も含め、認知症の方にとっては認知機能の低下を促進してしまう要因となっている。また、介護者である家族も煮詰まった生活の中、心理的・身体的負担の増大から追い詰められた状況がある。令和1年度まで行ってきたサロンおよびカフェの活動も休止しており、その他の行き場も縮小している状況である。一方、感染対策を行いながら、少人数でも集まるグループも出始めている。引き続き、情報収集と共に具体的な支援を模索していく。

5.若年層の引きこもり者への支援…当該地域にも40代から50代の引きこもりの人への支援に関わる課題が顕在化し始めた。以前引きこもりだった経験者が立ち上げたサロンおよびカフェを支援し、課題にアプローチするきっかけづくりを継続する。※特に一人暮らしの方についてはコロナ禍により孤立感を深める傾向があるので留意する。

6.シニア層のセカンドライフへの支援…地域活動の担い手の発掘については、当地域でも同じように大きな課題である。ボランティア活動も以前のような無償ボランティアでは活動を立ち上げたり、継続したりすることも難しくなっている。地域ニーズと活動をマッチさせ、60代の方が地域活動に入りやすい有償ボランティア活動について検討し、提案していくことを継続する。
 コロナ禍の中で感じることは、これまでの生活で地域につながりを作ってこられた人は耐える力があり、そうでない人は孤立感を深めるという二極化が進んでいることである。特に対面式の交流に制限がかけられると孤立した人に支援する術がなくなり悪循環に陥る。当たり前のことのようにあるが、今回のような事態においてはその重みが違う。また、毎年のように起こる地震、風水害と防災の重要性を忘れてはならないが、東日本大震災から10年が経過し、防災ボランティアをリードしてきたチームも高齢化が進んでいる。担い手の若返りも含め地域への関心を深める取り組みが求められている。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1.新型コロナウイルス拡大および防止対策の影響による生活課題の抽出と具体的な支援 ① 地域活動における電子機器を利用したりリモート会議等の支援 ② 感染対策を行いながらのフレイル予防の取り組み
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2.地域保健福祉活動および地域ケアプラザの活用に関する情報の周知 活動者が少ない40代、50代の方へのアプローチとして、コロナ禍で活躍する場が減じた活動者から聞き取りを行い、コロナ禍でも行える活動を模索する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	3.地域課題へのアプローチと地域ニーズに即した社会資源の開発 総合相談等の個別ケア、民生委員や専門機関との連携会議および各地域保健福祉計画推進団体等のネットワーク会議から抽出された地域課題について、地域ケア会議等で話し合い協議体を経て社会資源の開発につなげる仕組みを継続する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4.認知症予防および認知症の方、認知症の家族を介護する家族への支援 コロナ禍の閉じこもり生活は、軽度認知障害の方も含め、認知症の方にとっては認知機能の低下を促進してしまう要因となっている。また、介護者である家族も煮詰まった生活の中、心理的・身体的負担の増大から追い詰められた状況がある。令和1年度まで行ってきたサロンおよびカフェの活動も休止しており、その他の行き場も縮小している状況である。一方、感染対策を行いながら、少人数でも集まるグループも出始めている。引き続き、情報収集と共に具体的な支援を模索していく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	5.若年層の引きこもり者への支援 当該地域にも40代から50代の引きこもりの人への支援に関わる課題が顕在化し始めている。以前引きこもりだった経験者が立ち上げたサロンおよびカフェを支援し、課題にアプローチするきっかけづくりを継続する。※特に一人暮らしの方についてはコロナ禍により孤立感を深める傾向があるので留意する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	6.シニア層のセカンドライフへの支援 地域活動の担い手の発掘については、当地域でも同じように大きな課題である。ボランティア活動も以前のような無償ボランティアでは活動を立ち上げたり、継続したりすることも難しくなっている。地域ニーズと活動をマッチさせ、60代の方が地域活動に入りやすい有償ボランティア活動について検討し、提案していく。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

総括的に振り返ると、都度変化するコロナ対策に対応する一方で、コロナうつや閉じこもり予防についても情報発信しながら運営を行った年度であった。以下、課題ごとに内容に触れる。1.リモート会議等の支援については、まずは職員のスキルの習熟が必要であった。横浜市が主催する研修、会議等に参加し、内部の環境も整え、地域活動の支援が行える状況になった。具体的には地域ケア会議で住民の方たちとリモートを使用して行った。また、デイサービスのプログラムにリモートで地域のサークルや保育園が参加するなどの取り組みを行った。また、フレイル予防については関連する講座の開催、3Aスマイルの会、ポールウォーキングの再開など感染対策に留意しながらの取り組みを行った。2.40代、50代を含む活動者へのアプローチについては、コロナ禍が始まる前から計画していた地域イベントのメンバーをリモート会議でつなぎ仲間づくりを行った。また、地域振興課と協働した居場所づくり講座の参加メンバーに呼びかけ、アフターの会を行い、地域コーディネーターになりうる新しい担い手の開拓に参画した。3.平成30年に行った地域ケア会議で課題抽出された「買い物支援」が栄区社会福祉協議会を軸として、移動販売の手法を使って賑わいを見せた。担当エリアの中でも3箇所が立ち上がり、個別の自宅に届ける工夫なども始まり、活動が多様化した。また、買い物支援にとどまらず、見守り支援にもつながり栄区全体に広がっている。その他、継続した取り組みとしての元気づくりステーションが桂台団地が4.認知症予防としての3Aスマイルの会、桂台カフェの本格的再開、そして、神奈川県認知症のひとと家族の会が主催した若年性認知症のつどいを行うことができた。つどいについては、代表である川崎幸クリニック杉山院長の他、区内の医療機関からも医師、医療スタッフが参加し、顔つなぎをすることができた。5.若年層の引きこもりの方を対象とした木曜サロンを継続して開催している。今年度は、栄区で行われたポツチャ大会にも参加し地域の方たちと交流を広げた。当事者の方たちは、栄区内の生活支援センターやふれんずの利用、まごころの会などへの参加と活動する場所も複数あり、連携して一つの居場所的な支えとなるように努めた。6.シニア層のセカンドライフの支援としては、生活支援コーディネーターが支援しているサービスB事業花かごで行っている小箱ショップを一つのモデルと考えている。コロナ禍の中では、イベントが軒並み中止となる中、地域の手作り作家の人たちは発表の場を失っていた。そこで、花かご内に小箱ショップをオープンしたところ多数の応募者があった。また、手作りフェスタも定期的に行っており、50代、60代の活動者が定着した。

区からのコメント

・地域福祉保健計画(地区別計画)の事務局として、会議への出席や連絡調整に取り組んでいただいています。地域の意向を主体としつつも、引き続き、必要に応じて助言等の支援をお願いします。
 ・コロナ禍のなかでも、地域や関係機関とも連携しながら、ICTの活用や見守り活動や関係機関との研修会など取り組んでいただいています。移動販売を通じた見守りが継続したものとなるように支援をお願いします。引き続き、地域の身近な相談機関として地域や関係機関と連携しながら、研修や講座を実施し、取組を推進していただくことを期待しています。

令和3年度横浜市桂台地域ケアプラザ事業計画書・事業報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	・すべての利用者に対して、公正中立に居宅介護支援事業者およびサービス事業者等の情報提供を行う。具体的には利用者が利用できるサービス一覧表を提示し、自ら選択ができるように促す。	・個人情報漏洩防止研修および事故予防、事故事例等の研修をそれぞれ年1回以上行う。 ・法人の取り組みとして、セーフティマネジメント委員会を設置し、活動を行う。
実績	すべての利用者がサービスを利用する際に各サービス一覧表を提示し、利用者やご家族が選択できるよう説明した。	個人情報漏洩防止研修は年4回行った。事故予防研修を年1回行った。

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業										
目標	自宅で生活している要支援高齢者に対して、介護予防を視点におき、居宅において自立した日常生活を営むために介護予防サービスだけでなくインフォーマルサービスが適切に利用できるようにケアプランを作成することを目標とする。	自宅で生活している要介護高齢者に対して、介護予防・認知症・独居高齢者のケアを視点におき、居宅において自立した日常生活を営むために居宅サービスが適切に利用できるようにケアプランを作成することを目標にする。										
職員体制	専任4名(主任介護支援専門員1名、経験のある看護師1名、社会福祉士2名) 兼任1名(経験のある看護師)	介護支援専門員5名(常勤専任3名、兼任2名)										
利用者実績(人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	276	283	290	299	288	302	110	110	113	119	117	126
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	300	304	215	217	208	211	116	120	119	120	115	125

3 通所系サービス事業

	通所介護 認知症対応型通所介護						第1号通所事業 介護予防認知症対応型通所介護					
目標	介護が必要になっても在宅での生活を継続できるように、自立支援、重度化予防を目的とした通所介護事業を行う。主に口腔ケアの取り組み、機能訓練の実施、認知症の方への個別ケア等を重点的に置く。						在宅での生活をできるだけ長く継続できるように、自立支援、重度化予防を目的とした第1号通所事業を行う。主に口腔ケアの取り組み、機能訓練の実施、認知症の方への個別ケア等を重点的に置く。					
実施体制	【実施日数】 年末年始を除く月曜日から土曜日 【提供時間】 10:00～16:00 【定員】 40名						【実施日数】 年末年始を除く月曜日から土曜日 【提供時間】 10:00～16:00 【定員】 40名					
実費負担	食費 700円						食費 700円					
職員体制	管理者1名 相談員(兼任3名) ケアワーカー(兼任16名うち介護福祉士9名) 看護師(兼任5名)、機能訓練指導員(兼任6名)						管理者1名 相談員(兼任3名) ケアワーカー(兼任16名うち介護福祉士9名) 看護師(兼任5名)、機能訓練指導員(兼任6名)					
利用者実績(人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	632	625	645	663	637	636	127	114	108	101	104	106
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	640	642	608	635	554	668	110	118	107	103	88	118

令和3年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）		■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	---	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	木曜サロン	30年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	精神障害者、発達障害者、引きこもりの方など、社会になかなかなじめない方々の語りの場	2:障害児・者		自由に集っていただくお話し会 毎週木曜日実施	52	396
2	ふくろうカフェ	23年	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	シニア世代に起こりうる課題や不安について、メンバーが率直に語り合い、お互いがこれからの生き方の参考にし交流を深めることを目的とする。また、年に一回は地域住民に向けてシニアライフに役立つ講座を実施する。	1:高齢者		高齢記の生活についての語り合い 第2金曜日実施	10	125
3	さかえ・グリーン協力隊	28年	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	庭木の剪定依頼受け作業を行う。 活動随時(注文が入り次第) 定例会(月1回)…庭木の剪定に関する技術の勉強会も兼ねている。	1:高齢者		庭木の剪定依頼受け作業を行う。 活動随時(注文が入り次第) 定例会(月1回)…庭木の剪定に関する技術の勉強会も兼ねている。	111	729
4	あおぞら会	29年	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	地域の方を対象に伴侶を亡くした方の思いを共感できる仲間作りを目的とする。	1:高齢者		伴侶を亡くした方が思いを共感したり、一人で生活する上での情報を共有する。 隔月実施	6	61
5	消費者トラブルから身を守るために	R2年	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	消費者被害や特殊詐欺被害が多い現状があり、被害手口や注意点等を地域の方へ周知することで被害を少しでも減らせるようにする。	1:高齢者		消費生活総合センターの相談員から消費者被害等の防止について話を伺い、自分も周囲の人も被害にあわない為にどう対応したらよいかを学ぶ。クーリングオフを勉強する。 年1回	1	11
6	フレイル予防について	R2年	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	フレイルの進行を防ぐ生活習慣のポイントのひとつとして食生活を整えることがある。食事摂取基準の内容を踏まえて低栄養を予防するための食事について講義やレシピの紹介を通じて地域に情報発信する。	1:高齢者		地域住民を対象に高齢者に必要な栄養と食事についての講義を行い、レシピの紹介と実践編をおこなう。 年2回	2	45
7	介護者教室	28年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	①男性介護者が介護の悩みを一人で抱え混まず介護の体験や情報を意見交換する。②介護予防、介護について知識を深める。③有料ホームを選ぶためのチェックポイントについての情報提供を行う。	5:地域		①神奈川ロイヤルの相談員を招いて有料ホームの種類や費用、具体的な選び方について学ぶ。4/23実施	2	32
8	しっかりとした足腰で転倒を予防しよう	R2年	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	包括エリア内で活動しているサロンや体操グループのリーダーを対象に介護予防についての講義を効果的なプログラムを提案する。	5:地域		理学療法士を講師に招いてサロンや体操グループのリーダーを対象に講義や実技を行う。 年1回	1	17
9	ケアマネジャー勉強会	18年	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	ケアマネジャーが通院から在宅医療への移行と医療との連携について学ぶ	6:事業者		通院から在宅医療への移行について医師による講義と事例紹介 年1回	2	23
10	桂台健康講座	30年	4:共催(1と2)	2:発展させるねらい	5月「住まいの環境を整備して転倒予防」 7月「心不全」 9月「大腸がんと便秘」 10月「高血圧」 11月「転倒予防講座」の年5回講座を企画。	5:地域		5月「住まいの環境を整備して転倒予防」 7月「心不全」 9月「大腸がんと便秘」 10月「高血圧」 11月「転倒予防講座」の年5回講座を企画。	5	97
11	ボランティアグループネット	23年	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	ボランティアグループネットのメンバーが自らの知識を高め、それぞれのボランティア活動やグループ反映できることを目指す。主にグループメンバーに必要な研修を話し合い実施する	5:地域		包括と共催で研修会を企画している。 毎月1回 第四金曜日 開催予定。	8	145
12	NFの会	26年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	認知症の家族、専門家、地域住民などが集い、意見交換、情報交換をする事を目的とする。	1:高齢者		認知症の家族を抱える介護者の居場所として談話をする	11	48
13	桂台カフェ	27年	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	認知症本人とその家族、地域の方の交流の場所となる認知症カフェとして月に1回開催している。専門職(包括・デイ)が加わり認知症の理解促進のために貢献している。家族会では意見交換を行い、介護の悩みや問題点を啓発する事を目的とする	4:子ども・青少年	5:地域	認知症カフェとして月1回開催していたが、コロナ禍の為「家族会」として実施。	10	136

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）		■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることを ねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	---	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
14	スリーAスマイルの会	24年	5:共催(1と3)	2:発展させるねらい	「明るく、あたまを使って、あきらめない」をモットーに体操や歌などを取り入れたプログラムを行い、認知症予防を地域住民主体で取り組むことを目的とする。	5:地域		月2回第2、4水曜日に開催。コロナの影響によりプログラム内容を変更し、脳トレを中心に実施。	22	501
15	桂台菊講座	30年	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	栄区の区花である菊の育て方の講習会を行う。	5:地域		桂台、上郷中学校、桂台7月、公田7月先生向け、上郷小学校の福祉教育	2	45
16	福祉教育	29年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域の小学校、中学校の先生児童生徒を対象、ケアプラザの機能の紹介や高齢者、認知症の理解、地域について考える事業を行なう	4:子ども・青少年		桂台、上郷中学校、桂台7月、公田7月先生向け、上郷小学校の福祉教育	6	173
17	子育てサポートシステム	30年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	桂台地区の子育てをしている世代で子どもを預けたり、預かたりする仕組みを広めるための説明会	7:その他		子育て世帯をサポートための仕組みづくり コロナの為中止	0	0
18	父親講座	R3年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域の初めてパパになる方を対象に育児の楽しさや苦勞など共有する場所を作る	5:地域		主に0才から3才までの子育て世帯をサポートための仕組みづくり 9月10月12月	3	69
19	ぴかぴか大作戦&交流会(調理室、貸室清掃)	30年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	調理室使用団体と一緒に清掃をし、備品の管理や調理室の使い方について共有する。また、他の団体との交流をし、活動の方法について参考になることを共有する	5:地域		貸室の清掃活動および使用団体同士の交流会11/2、11/7AM、PM	3	83
20	ボランティア茶話会	R2年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	特にデイに来ていたボランティアさん対象に活動できていないので、フレイルに関するご様子伺いと、今後のプログラムについての相談を行う	5:地域		ボランティア再開に向けての情報交換 コロナにより再開できなかった。	0	0
21	祝日友の会	R2年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	主に精神障害の方々を対象に表現を通して自分に自信をもつことを目標とする	2:障害児・者		主に第2土曜日、演劇の手法や歌などの表現の会 緊急事態宣言にて7月から中止	6	22
22	げんき食堂	29年	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	子どもが孤立しない仕組みづくりの為に、ボランティアが中心になり、温かい食事と居場所の提供をしている	4:子ども・青少年		月に1回子どもたちに温かい食事を提供する7月に夏休みスペシャルで、キャンドルづくりを行う。12月に工作とクラシックコンサート	7	187
23	火災を出さないために	R2年	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	高齢者に対する、火災予防の啓発事業	5:地域		11月26日 栄消防署との共催	1	7
24	買い物支援事業(日常生活のお困り事を相談できるところリスト)	H31年	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	H31年3月からスタートした買い物支援であるが新型コロナウイルス防止の為令和2年3月から休止となっている。その後の対応として「日常生活を相談できるリスト」を各自治会ごとに作成し民生委員を通して高齢化に伴い買い物に行けない方への支援として移動販売を開催している。湘南ハイツと公田ハイツの2か所となる	1:高齢者		日治会ごとのリストを作成 5月 朝日平和台 6月 桂台自治会 7月 フローラ桂台自治会 9月 椎郷台自治会	4	380
25	移動販売事業(ローソン)	令和2年	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	地域の方を対象に音楽を通じて介護予防や認知症予防を行う。	1:高齢者		毎週火曜日、湘南ハイツ内のクロスハート栄・横浜の施設内駐車場にて見守りの観点から移動販売を行っている。その後公田ハイツの集合住宅向けに販売。	38	1010
26	音楽療法	H29年	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	本郷中央地区の民生委員と介護保険についての勉強会を開催する。	5:地域		桂台地域ケアプラザ・公田町団地・桂台団地のサロン時間を利用して介護予防教室を開催。	3	81
27	民生委員との勉強会	H18年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域の方を対象に嚥下機能の維持や口腔ケアの必要性について普及啓発を行う。	5:地域		民生委員と包括支援センター職員との顔の見える関係をつくる。	1	15
28	口腔機能講座	H18年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域のシニア世代に向けて「介護・後見・相続」に関する法律制度の情報提供・個別相談を行う。	5:地域		嚥下機能の維持の方法や口腔ケアについての講義や指導。	2	12
29	備えてあんしん終活講座	R2年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	栄区在宅医療相談室と主任ケアマネジャー分科会と共催でACPや認知症について学び、地域のケアマネジャーやサービス事業所の知識を深める。	5:地域		遺言書の保管制度や贈与・遺産相続等相続に関する民法の改正点の講義。エンディングノートの活用方法。	3	62
30	多職種勉強会	R2年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	栄区在宅医療相談室と主任ケアマネジャー分科会と共催でACPの講義②認知症VR体験③新人ケアマネジャー研修	6:事業者		①栄区在宅医療相談室と主任ケアマネジャー分科会と共催でACPの講義②認知症VR体験③新人ケアマネジャー研修	3	57

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）		■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	---	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
31	薬剤師との懇談会	H29年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	桂台ケアプラザの担当薬局の薬剤師と定期的にテーマを決めて話し合う。	6:事業者		新型コロナウイルスの感染予防対策や日常の業務での情報交換。	3	21
32	虐待防止出前講座	H30年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	高齢者施設や地域の民生委員を対象に虐待の防止や早期支援のため啓発活動を行う。	5:地域		地域の民生委員やケアマネジャーを対象に虐待防止の出前講座を行う。	4	47
33	シニア健康づくり教室	H18年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	桂台・公田町に住んでいる方を対象に身近な場所で体を動かしていただき介護予防の普及啓発を図る。	5:地域		6/4・11朝日平和台自治会館で横浜市体育協会の講師を招いてストレッチやヨガサイズを行った。	6	50
34	子育てサロン(桂台保育園)	R3年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	桂台保育園の子育てサロンをケアプラザで行う	4:子ども・青少年		月1回 子育てサロンを開催し保育園に入っていない地域のお子さんと世帯を支援する	7	102
35	栄区石塔、石仏講演会	R3年	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	栄区に多数ある石塔石仏の調査をもとにマップを作成した。調査結果の報告会を行った。	5:地域		5/27地域の歴史研究をされている方の講演会。	1	66
36	げんき満天チーム	R3年	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	桂台周辺地域住民のネットワークづくりの会、団体と団体、人と人をつなげる役割を持つ	5:地域		月に2回リモート会議を行い、イベントの情報交換を通じて地域を盛り上げながらづくりを行う。地域のイベントに協力11/6花植え式、11/21プレイーク	17	212

令和3年度「横浜市桂台地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	20,642,078	18,262,078	38,904,156	20,642,078	18,262,078	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）	30,000		30,000	7,300	22,700	講座参加費
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他	△ 2,380,000		△ 2,380,000	△ 2,380,000	0	
収入合計	18,292,078	18,262,078	36,554,156	18,269,378	18,284,778	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,313,000	12,581,365	23,894,365	12,577,671	11,316,694	
本俸	8,100,000		8,100,000	8,762,146	△ 662,146	
社会保険料	970,000		970,000	1,044,967	△ 74,967	
手当計	2,100,000		2,100,000	2,555,590	△ 455,590	
健康診断費	21,000		21,000	39,208	△ 18,208	
勤労者福祉共済掛金			0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	122,000		122,000	175,760	△ 53,760	
その他			0	0	0	
事務費	1,254,038	0	1,254,038	1,797,243	△ 543,205	
旅費	5,000		5,000	8,396	△ 3,396	
消耗品費	400,000		400,000	356,030	43,970	
会議賄い費	45,000		45,000	30,492	14,508	運営協議会経費含む
印刷製本費	15,000		15,000	22,311	△ 7,311	
通信費	220,000		220,000	277,904	△ 57,904	
使用料及び賃借料	5,000	0	5,000	2,640	2,360	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	5,000		5,000	2,640	2,360	
その他			0	0	0	
備品購入費	320,000		320,000	0	320,000	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	46,000		46,000	190,097	△ 144,097	
職員等研修費	15,000		15,000	4,000	11,000	
振込手数料	4,000		4,000	668	3,332	
リース料	43,000		43,000	479,784	△ 436,784	
手数料	10,000		10,000	0	10,000	
地域協力費	30,000		30,000	0	30,000	
その他	96,038		96,038	424,921	△ 328,883	
事業費	306,000	0	306,000	139,410	166,590	
運営協議会経費	42,000		42,000		42,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	264,000		264,000	139,410	124,590	
その他			0		0	
管理費	4,040,000	0	4,040,000	4,981,308	△ 941,308	
光熱水費	2,100,000		2,100,000	2,892,657	△ 792,657	
清掃費	1,100,000		1,100,000	1,114,005	△ 14,005	
機械警備費	62,000		62,000	40,878	21,122	
設備保全費	778,000	0	778,000	777,446	554	
空調衛生設備保守	370,000		370,000	204,527	165,473	
消防設備保守	170,000		170,000	158,598	11,402	
電気設備保守	78,000		78,000	77,616	384	
害虫駆除清掃保守			0		0	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	160,000		160,000	336,705	△ 176,705	
共益費			0		0	
その他			0	156,322	△ 156,322	
修繕費	474,000		474,000	641,449	△ 167,449	予算：指定額
公租公課	905,040	0	905,040	0	905,040	
事業所税			0		0	
消費税	905,040		905,040		905,040	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	18,292,078	12,581,365	30,873,443	20,137,081	10,736,362	
差引	0	5,680,713	5,680,713	△ 1,867,703	7,548,416	

自主事業費 収入	30,000	0	30,000	7,300	22,700
自主事業費 支出	264,000	0	264,000	139,410	124,590
自主事業 収支	△ 234,000	0	△ 234,000	△ 132,110	△ 101,890

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	5,000	0	5,000	2,640	2,360	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	△ 5,000	0	△ 5,000	△ 2,640	△ 2,360	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和3年度「横浜市桂台地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	29,532,644		29,532,644	29,532,644	0	横浜市より
指定管理料【介護予防】	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,731,000		5,731,000	5,731,000	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			25,000	0	25,000	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他	25,000		25,000	0	25,000	
収入合計	35,439,644	0	35,439,644	35,414,644	25,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	31,650,000	0	31,650,000	31,648,613	1,387	
本俸	17,800,000		17,800,000	17,563,410	236,590	
社会保険料	4,200,000		4,200,000	4,106,706	93,294	
手当計	9,000,000		9,000,000	9,375,376	△ 375,376	
健康診断費	50,000		50,000	46,282	3,718	
勤労者福祉共済掛金			0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	600,000		600,000	556,839	43,161	
その他			0	0	0	
事務費	1,136,644	1,303,000	2,439,644	2,460,985	△ 21,341	
旅費	40,000	1,303,000	1,343,000	9,577	1,333,423	
消耗品費	300,000		300,000	371,550	△ 71,550	
会議賄い費	40,000		40,000	4,788	35,212	
印刷製本費	15,000		15,000	22,312	△ 7,312	
通信費	200,000		200,000	318,697	△ 118,697	
使用料及び賃借料	0	0	0	2,640	△ 2,640	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0	2,640	△ 2,640	
その他			0	0	0	
備品購入費			0	0	0	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	80,000		80,000	190,097	△ 110,097	
職員等研修費	60,000		60,000	14,170	45,830	
振込手数料	5,000		5,000	2,264	2,736	
リース料	43,000		43,000	1,153,780	△ 1,110,780	
手数料			0	0	0	
地域協力費			0	0	0	
その他	353,644		353,644	371,110	△ 17,466	
事業費	1,190,000	0	1,190,000	786,625	403,375	
協力医	630,000		630,000	357,000	273,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	100,000		100,000	46,000	54,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	151,000		151,000	151,000	0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	309,000		309,000	232,625	76,375	予算：指定額
その他			0	0	0	
管理費	1,337,000	0	1,337,000	1,325,960	11,040	
光熱水費	560,000		560,000	768,933	△ 208,933	
清掃費	300,000		300,000	296,127	3,873	
機械警備費	17,000		17,000	10,866	6,134	
設備保全費	350,000	0	350,000	206,655	143,345	
空調衛生設備保守	100,000		100,000	54,367	45,633	
消防設備保守	50,000		50,000	42,157	7,843	
電気設備保守	21,000		21,000	20,631	369	
害虫駆除清掃保守			0	0	0	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	45,000		45,000	89,500	△ 44,500	
共益費			0	0	0	
その他	110,000		110,000	43,379	66,621	
修繕費	126,000		126,000	170,508	△ 44,508	予算：指定額
公租公課	0	0	0	2,125	△ 2,125	
事業所税			0	0	0	
消費税			0	0	0	
印紙税			0	2,125	△ 2,125	
その他			0	0	0	
その他			0	0	0	
支出合計	35,439,644	1,303,000	36,742,644	36,394,816	347,828	
差引	0	△ 1,303,000	△ 1,303,000	△ 980,172	△ 322,828	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	560,000	0	560,000	429,625	130,375	
自主事業 収支	△ 560,000	0	△ 560,000	△ 429,625	△ 130,375	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	2,640	△ 2,640	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	△ 2,640	2,640	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和3年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市桂台地域ケアプラザ

R3年4月1日~R4年3月31日

(単位:千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	5,200	4,500	700	23,310	26,146	-2,836	62,690	61,123	1,567	5,169	6,344	-1,175
	その他	0	0	0	180	485	-305	18,192	15,687	2,505	967	1,215	-248
	事業・負担金収入			0			0			0	967		967
	利用者負担金収入			0			0	18,170	15,621	2,549		1,215	-1,215
	要介護認定調査収入			0	180	485	-305			0			0
				0			0			0			0
				0			0			0			0
	その他			0			0	22	66	-44			
	収入合計(A)	5,200	4,500	700	23,490	26,631	-3,141	80,882	76,810	4,072	6,136	7,559	-1,423
支出	人件費			0	15,500	16,461	-961	57,048	61,841	-4,793			0
	事務費			0	4,000		4,000	9,000	3,170	5,830			0
	事業費			0	962		962	6,000	8,504	-2,504			0
	管理費			0			0	7,654	15,993	-8,339			0
	その他	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0	10		10			0
	消費税			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料			0			0			0			0
				0			0			0			0
	その他			0			0			0			0
	支出合計(B)	0	0	0	20,462	16,461	4,001	79,712	89,508	-9,806	0	0	0
	収支 (A)-(B)	5,200	4,500	700	3,028	10,170	-7,142	1,170	-12,698	13,878	6,136	7,559	-1,423